

第2回合唱リハーサル&展示作品介绍

今日の4～6時間目に、第2回合唱リハーサルがありました。また、放課後には、展示準備や第2回ステージ発表リハーサルがありました。

合唱コンクールもいよいよ明後日となり、各学級、合唱が仕上がってきました。聴いていて、とても心地よくなる歌声でした。これは、リーダーが中心となり、学級の雰囲気高め、練習を充実させた結果です。リーダーが頑張り、学級の皆も頑張りました。練習はあと1日です。最後の仕上げをし、当日を迎えてほしいと思います。

1年



2年



3年

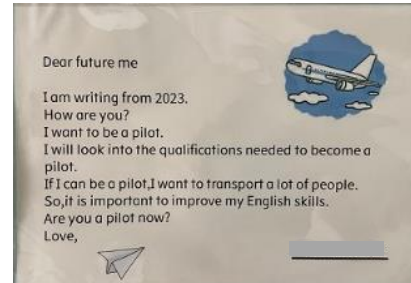
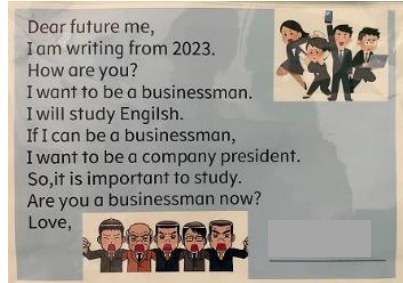


☆展示作品の紹介

パンフレット募集作品から



2年生英語



1年生上靴スケッチ




1,2年生理科自由研究

蔓植物の絡まる方向の謎


〈発案理由〉
私がこの実験をしようと思った理由は、家で育てていた草という花のつるが、支柱にかかっているのを見て、ほかの植物も同じようにかかまるのかなと思ったからです。

〈実験〉
① 野外観察
公園でつる植物の観察を行った。するとやはり草と同じ右にかかまると植物のほうが多かった。





〈結果〉
資料調査により、つる植物は、左回りにからまるのもあれば、右回りにからまるものもあるとわかった。そしてそれは、遺伝子によって決められるということもわかった。

〈予想〉
私は草以外の植物も家にも植えたことがあります。草と同じ右肩上がりのかかまり方でした。なので私は、ほかの植物も右肩上がりにからまるのではないかと予想しました。
ルコウ草




右肩上がり (右回り)

② 資料調査
本やインターネットを使い、調べた。すると、つる植物の遺伝子にはどういう形でからまるか書き込まれていて、それは環境で変化するものではなく、種類ごとに同じようにかかまるもので、その書き込まれ方によってからまり方は左右されるとわかった。

右肩上がり (右回り) 左肩上がり (左回り)

〈まとめ〉
今回はつる植物のからまり方について調べた。次からは、植物の、さまざまな特徴について調べて、植物に対しての知識を深めたい。



ハヤトウリ

流れ星について調べました。

1 研究するきっかけ

夏休みに山へ星を見に行ったときに、流れ星が流れ、なぜ流れ星は流れるのかわらぬと思ったから。

2 調べた方法

本やインターネット

3 予想

どこの星が欠けて、その欠けた部分が落ちてくるから、流れて見えるのだと思う。



きっかけ 人間はDNAがあるから 食べ物にもあるか身になた。	予想 DNAはある 疑問 どうなる形をしているのか
方法と道具 ・アロココリ-4.5尾 ・アロココリ-4.5尾袋 ・茶こし ・塩(5g) ・無水エタノール(50-60%) ・水で薄めたアロココリ ・はかり ・めん棒 ・水(95mL) ・器具用洗剤(水1) ・スプーン ・はきり	実験スタート ①アロココリ-の 花芽を切り 細く切ら 10~15g 袋に入れて 冷凍庫に入れる ※無水エタノールも冷凍庫
①②を加えて、めん棒で 手早くつぶす	③水95mL、塩5g、器具用洗剤(水1) を混ぜる。④ここに DNA抽出液を加える
	⑤無水エタノール50~60%とスプーン 7~10mlを別面からきよに入れておく。 ⑥無水エタノールを別面に つたわらぬように 注ぎ入れる。
⑦⑧DNA抽出液をアロココリ-袋に 30mLずつ加え、軽く振り混ぜる。10分おく。 ⑨再び混ぜるとDNAが上層に抽出さ れてくる!!	

結果 アロココリ-からDNAは取り出せる。	
DNAの色や形、手こわり 色 - 白色 形 - いろいろな形がある(袋みたい) 手こわり - 手や触ると全くつかない。 (スライムに似ている)	
わかったこと 出た白いものはアロココリ-のDNAであることが 分かった。実験を通してDNAとは、遺伝情報を 構成する物質であると学んだ。自分の身近な食 材にもDNAが存在するのを知れた。	
感想 DNAについて詳しく知ることができた。 次回、アロココリ-の違う部分や イチゴなど他の食材のDNAを 顕微鏡で見たい。	参考 Benesse 自由研究解決サイト